



# 辻川だより

ホームページ



https://village6567.com/

第68号 [2024-I号] 令和6年5月25日 辻川区自治会 発行

辻川公民館 〒679-2204 福崎町西田原 1228-2 TEL 0790-22-5763



公民館南



公民館北



高藤稲荷



地藏堂



登記所跡

5月上旬の花壇

**令和6年度の取り組み** 区長 田崎 正和

令和6年度総会が出席86名、委任状91名(内個人委任4名)、議決権行使書82名の計259名/412戸で成立し、全ての議案が承認されました。

今年度予定している久しぶりの取り組みとしては、11月の総合自主防災訓練と3月のグランドゴルフ大会があります。

防災訓練では全世帯参加の安否確認や個別支援計画に基づいた避難訓練も計画しています。グランドゴルフ大会では老人会と子ども会を中心に三世代交流ができればと思っています。共に「コミュニティ(辻川共同体)のやりわりしたつながりが再発見できればいいですね。

一方で、公民館敷地の所有権移転登記を進めるために、昭和10年当時の共有登記者であった辻川役員10名の子孫(相続人)の調査を始めます。また、隣保長・各種団体役員会議では新公民館建設予定地の選定作業を始めたいと考えています。

何れにしても区民の皆様のご理解、ご協力なくしてはできないものではありません。今年度もご活用くださるようお願いいたします。気持ち元気ががんばれますように。

## 協議員会は今

3、4月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。

- 1 ぶらり辻川界隈まち歩き実行委員会役割分担
- 2 令和6年度総会準備
- 3 令和5年度自立のまちづくり交付金事業実績報告
- 4 事業所等への協力金・自治会費の変更点

【お願いとお知らせ】

●総会で承認していただいた地租割の「田」の扱いについて、辻川所属地(「上坂」等12小字地：「歴史読本」12話参照)以外からの徴収は令和6年度から取り止めます。担当役員でも調べますが、該当する「地区外の田」を所有されている方は最寄りの協議員までお知らせください。

●区内賃貸アパートの入居者に負担していただいている自治会費について、今年末までに契約当初の辻川区との取り決めを再点検し公平な負担をオーナー(管理会社)にお願いする予定です。

## 近頃の予定

- ◇6月上旬 鈴の森神社掃除(老人会主催)
- ◇7月上旬 サルビア植替
- ◇7月13日(土) 隣保長各種団体役員会議
- ◇7月19日(金) 人権・青少年健全育成研修会
- ◇8月3日(土) 民俗学の夕べ
- ◇8月4日(日) 町内一斉クリーン作戦

**祭礼行事のお知らせ**

- ◇7月7日(日) 夏えびす賽銭200円/戸をお願いします
- ◇7月14日(日) 夏まつり
- 井ノ口区と一緒に祭祀します

## 事業報告

◆3月2日(土) 隣保長・各種団体役員会議

- 1 ぶらり辻川界隈まち歩き
- 2 令和6年度役員確認依頼
- 3 令和6年度辻川区総会準備(規約一部改正)
- 4 公民館とゴミステーション掃除当番の取り決め
- 5 お葬式連絡の取り決め
- 6 公民館保管の前神輿屋台の伊達綱・オートテオ機器・葬具の処分検討

◆3月3日(日) 自主防災訓練

辻川消防団の指導により、区内5ヶ所で消火栓訓練が行われました。火災には、消火器や消火栓による初期消火がとても大切です。「習う



より慣れよ。」で訓練を続けましょう。

◆3月24日(日) 第3回ぶらり辻川界隈まち歩き 今回のテーマは、「國男少年が見た辻川を歩く」。一年前の歴史読本発刊を受けてのまち歩きでしたが、天候不順もあり、スタッフを含め100余名の参加にとどまりました。

とはいえ、参加された方は、途中7ヶ所の説明ポイントでは、明治前期の辻川に思いをはせられたのではないのでしょうか。くじ引きでもらったおやつを食べながらのビンゴ大会も楽しかったね。実行委員会の皆さんご苦労様でした。

◆4月28日(日) 令和6年度辻川区定期総会

コロナ禍が明け、普段の生活に戻ってきた中の辻川区総会になりました。

公民館建設など課題もたくさんありますが、行事や活動を通して、楽しく、住みやすい辻川区にしていきますよう。ご協力よろしく申し上げます。



総世帯 413戸

区長

田崎 正和

協議員

【選出ブロック】(主な担当)  
 副区長 埴岡 政秀【4】(総務)  
 会計 吉田 和弘【5】(会計)

松岡 弘【1】(土木)

松岡 信孝【1】(広報)

内藤 至【2】(環境)

尾上 利幸【2】(文化)

吉田 和司【3】(広報)

釜坂 優二【3】(文化)

松本 信裕【4】(土木)

瀧井 裕士【5】(体育)

隣保長

1ブロック [世帯数]  
 1 段林 克和【13】

2 川端 一郎【15】

3 福富 成泰【31】

◎14 井藤 勝仁【21】

2ブロック

4 上延 克之【6】

5 尾上 利幸【15】

◎6 前田 亮平【7】

7 鈴木 常正【10】

3ブロック

◎10 多田 真一【75】

11 松岡 定英【10】

12 吉田 和司【12】

13 釜坂 優二【21】

15隣保担当

4ブロック

8 田中小百合【12】

9 中西 宏之【38】

15 松井 隆【17】

20 林 俊輔【15】

21 藤尾 徹平【16】

◎22 岡本 拓也【40】

5ブロック

◎16 青田 智浩【11】

17 後藤 靖彦【10】

18 長田 恵子【8】

19 大山 昌彦【10】

団体役員

〔代表のみ紹介〕  
 老人会 木中公子、駒田美幸  
 女性部 志水 智子  
 商工部会 植田 弘造  
 農業部会 鈴木 智久  
 消防団 飯塚 竜太  
 青年団 藤原 駿  
 子ども会 高塚慎太郎  
 中学PTA 岩崎 晃子

上部派遣役員

民生委員 田崎雅子、鈴木琴美  
 福祉委員 古井智世、村井朋子  
 補導委員 堀 節子  
 人権教育推進委員 木村健一郎、岡田 誠

青少年健全育成委員 田中 克典  
 体育普及員 上原 浩  
 文化財協力委員 吉田 和司  
 田原財産区議員 田崎 正和  
 市川町外三ヶ市町共有財産事務組合 井上 良宣  
 組合議員

私の昭和の時代(第3話)  
 『辻川でも行われていた虫送り』

辻川でも昭和戦前期まで「虫送り」が行われていたそうだと<sup>※1</sup>。一隣保の伊藤源五氏によると村中の人が松明を持って氏神の鈴の森神社(図中の●)に集まり、代表が灯明を境内に集まっている人に次々と移した。皆の松明に火がつくと先頭の太鼓の音に合わせて『稲の虫やお供せ、実盛さんの先達や』と歌いながら井ノ口参道から「どと橋」の少し手前の井ノ口境(現谷川・上井合流地点)まで下った。その後の道筋は、上井用水(堰溝)の西堤(当時は草が刈ってあり巾が広がったとのこと。今の通学路は東堤)を南下して地藏堂まで下り、そこで右折して現国道312号線に出て(現辻川北交

差点→辻川交差点を通り)さらに南田原境まで南下した。現きりん薬局(吉田宅)の前(図中の★)で全ての松明を道に捨てて大きな火にして稲につく虫を退治していた(五穀豊穣を祈った)そうだと。虫送りの道筋には辻川住人の田んぼが広がっていた。  
 戦前の辻川北交差点から南への道沿いには、昭和三年に建った辻川公会堂(旧公民館)、同一〇年頃に移転してきた田原村役場、さらに南に同一七年に建った田原国民学校(それまでは明治四一年からの田原尋常高等小学校があった。同一一年には新講堂が竣工していた)があったが、小学校から南には家がなく道も田んぼ道であった。なお、伊藤氏は市川対岸の「山崎村の虫送り」の松明が美しく



1965年小字図(町史4巻付図) → 虫送りの道筋

ったとも回想される。北の千束市川町境)からの行列が市川西岸の「一本松」(馬田境)までやってきていたそうだと。当時はまだ2階建ての家も少なく、駒ヶ岩からの見通しは良かったのだろう。幻想的な眺めが目には浮かぶ。

※1 田原地区では唯一大門区に残る。約20年前に地域おこしの行事として虫送りを復活させた。  
 ※2 山崎区では昭和30年頃まで残り、平成期に復活したが今はまた途絶えているとのこと。  
 ※3 市川西岸道路の文化センターへの三差路辺りにあった。

「参考引用文献」  
 政郷七十年「柳田國男(1950)民俗学」のふるさと辻川」12話・38話  
 辻川史編集委員会(2023)「福崎町文化財保存活用地域計画資料編」町教委社会教育課(2023)

大募集  
 「私の昭和の時代」  
 投稿をお待ちしています。

編集後記

今年の夏、パリでオリンピック・パラリンピックが開催されます。日本代表の活躍を期待しています。これまでもいろいろな大会で試合後に多くの日本人サポーターがゴミ拾いをする姿に、世界が称賛を贈っています。誇らしいことです。これならば、わたしたちの身の回りでもまねができています。

(吉田 和司)